

第2回なめがた未来のまちづくり協議会

行方市総合戦略更新作業の進捗について

行方市企画部政策秘書課 政策秘書グループ
令和3年7月6日



行方市総合戦略について

■ 名称:行方市総合戦略書

- 平成27(2015)～令和7(2025)年度
- 「行方ならではの価値」の共有を目指して～笑顔で住み続けたいまち、行方～
- 3つの基本理念
 - ① 「継続」から「変革」へ
 - ② みんなが主役のまちづくり
 - ③ 身の丈に合った市政運営
- 5つの重点プロジェクト
 - ① 働く場の拡大プロジェクト
 - ② 健康で文化的なまちプロジェクト
 - ③ 住みやすい地域プロジェクト
 - ④ みんなで育むプロジェクト
 - ⑤ 情報発信で日本一プロジェクト
 - めざすこと(基本目標)
 - それぞれの施策





更新作業について

- 市総合戦略策定から5年が経過し、国の総合戦略も第2期に入り新たな視点が加えられたことから、総合戦略を更新します。
- 更新作業は主に、5つの重点プロジェクトのめざすこと(基本目標)及びそれぞれの施策について更新を行うものです。
- 令和2年度の経過
 - 市民意識調査の実施
 - なめがた市民100人委員会の実施 2回
 - 市担当課ヒアリング 3回 等※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、十分な議論に至らず令和3年度へ繰り越し
- 具体的手法について
 - 無作為抽出で選ばれたなめがた市民100人委員会を組織し、市民との議論を基に策定



なめがた市民100人委員会について

市民の生活実感が議論の入り口 「何をすべきか」ではなく「自分はどうありたいか」の議論

【目的】

- 総合戦略更新にあたり、市の課題とその解決策や、強みをさらに伸ばすための材料を出していく。
- 身近な問題を政治・行政任せにはせず、市民自らが行方市や地域のことを「自分ごと」として捉えられる。

【基本的な考え方】

1. 参加する市民の選び方が無作為抽出

- 住民基本台帳から、無作為に市民(3000人)に案内を送付し、応募のあった人が委員として参加する。

2. 地域の課題について、生活から見える現象をもとに市民間で議論

- 進め方のシナリオは一切作らない。参加する市民の発言から論点生まれ、議論を発展させていく。
- 行政への批判ではなく提案するための議論になるよう、外部の人間がコーディネーターを務める。コーディネーターは安心して議論できる環境を作る。

3. 「個人でできること」「地域でできること」から考える

- 行政への要望に終始するのではなく、課題解決のために自分たちでできることから考える。
- 「言いつぱなし」で終わらないように、参加者は具体的な課題とその改善策を記入する。

【構成】

- ① 100人委員会委員：テーマに関し、普段の生活から感じることなどをもとに市民間で議論する。
- ② コーディネーター：議論の進行・論点整理役。
- ③ 審議員：担当課との議論から課題や論点を浮き彫りにする。



基本目標実現シートについて

基本目標実現シートは担当課(室)ごとに作成

総合戦略「基本目標」実現シート						
プロジェクト	働く場の拡大プロジェクト					
基本目標 担当課	ブランド戦略室	シートNo	1_01_2			
基本目標	基幹産業である農業を盛り上げる					
市の現状	・市の少子高齢化が進み、農畜水産業に携わる関係人口の高齢化も進んでいる。また、後継者も少なくなってきた現状である。 ・主要農産物であるサツマイモは、JAなめがたしおさいを中心にブランド化が図られ市場の評価が高くなってきている。しかし、これまで地勢に恵まれ豊富な農畜水産物を販売してきたが、市場の評価が高くとも消費者への「行方市」の認知度が低い現状である。 ・消費者や実需者ニーズに合った商品づくりや、持続可能な産地づくりのための販売戦略を確立する必要がある。					
ありたい姿	・「なめがたブランド」を確立し、消費者や実需者のニーズに合った地域特産品をつくり販売促進すること、[行方市]の認知度をさらに高めていきたい。 ・ブランド化や6次産業化により付加価値を高め、所得の向上、農畜水産業へのイメージ改善を図り、魅力ある農畜水産業として生産者を活気づけていきたい。 ・農畜水産業が活気づき、農商工業が連携した持続可能な地域産業を構築していきたい。					
ありたい姿を実現していくための課題	・行方市のセールスポイントは「80品目以上生産できる」多品目産地であることで、多品目産地であることが持続可能な産地づくりにつながっている。 ・現在、サツマイモ生産の規模も大きく増え、認知度も高まっていることから、サツマイモの更なるブランディング化に向けて、JAなめがたしおさいを中心に連携し販売戦略を構築する。サツマイモが80品目以上の農作物を牽引し、地域のトータルブランディングを展開する。 ・持続的な産地づくりを進めるためにも、サツマイモ以外の農畜水産物について、意欲のある生産者の意向と消費者や実需者のニーズに合った地域特産品をつくり、販売戦略の確立を進める。 ・トップセールスや消費宣伝など、消費者や実需者への情報発信に取り組みながら、消費者のニーズと本市にあった効果的な情報発信の方法を見つけていく。 ・本市は、首都圏に近く作れば売れる環境のため(市場へ流通することがしやすい環境)、付加価値を付けた商品づくり(6次産業化)に取り組み者が少ない現状、シンポジウムやセミナー等により6次産業化やブランディングにより付加価値が高まる取り組みを意識付けしていく。また、農業者、商工業者の連携による商品づくりなど地域で取組む6次産業化を進めていく。 ・販売チャネルの多様化に対応した販売体制の構築が必要である(地域としての販売戦略の構築)					
ありたい姿を実現するための主要な施策	主要施策名	施策概要				
	なめがたブランドの構築	①なめがたブランドの発信 ・トップセールスや消費宣伝により消費者や実需者へPR ・WEBやSNSを活用した情報発信 ②ブランド戦略の確立 ・他産地と差別化を図るブランディングの構築 ・産学官連携による新たなブランド戦略の展開 ③販売戦略の構築 ・消費者、実需者のニーズ把握 ・地域全体としての地域特産品の販売やブランド化、地域資源の掘り起こし 等の推進 ④農畜水産物の付加価値向上 ・生産者の6次産業化を推進し、付加価値の高い商品づくりや地域で取組む6次産業化の推進 ⑤新たな販路の開拓 ・企業等(スーパーやコンビニ等)との連携による新たな販路の開拓 ・販売チャネルの多様化とECサイトの拡充 ・輸出事業の推進 ⑥地産地消の取組 ・市民に対する認知度強化のため、関係団体や店舗と連携し、学校給食や地域イベント等における地産地消、食育の推進				
成果指標	項目	目標値	当初値	2017年度	2018年度	2019年度
	なめがたブランド推奨産品	5	0	—	21	7
	ビジネスリーダーの育成(受講者数)	40	26	8		7

基本目標の実現に向けて、担当課が考える「ありたい姿」や「市の現状と課題」について記載。
100人委員会での議論を通して、行政の目線と市民の目線のギャップを埋めていく。

基本目標(ありたい姿)の実現に向けて、市(担当課)が取組む主要施策や成果指標について記載。
※現行総合戦略の施策と比較すると、5年間の取組み状況の評価や社会情勢の変化などを受けて、新しい施策の追加や施策の変更が行われている。

100人委員会での議論を基に
基本目標実現シートをブラッシュアップ
市民の意見を踏まえ、総合戦略(改定版)を作成。



第3回なめがた市民100人委員会の開催

- 日 時:令和3年5月30日(日)
 - 12:30~17:50
- 場 所:麻生公民館
- 内 容:
 - ①進め方の確認(5分)
 - ・ コーディネーターから議論の進め方について説明
 - ②基本目標の説明(15分)
 - ・ 担当課から現行総合戦略の振り返りと基本目標実現シートを基に今後の方針を説明
 - ③基本目標についての議論(55分)
 - ・ 初めに担当課の説明や基本目標実現シート及び施策等対照表を基に、担当課と審議員の議論
 - ・ 論点がある程度出た段階で、会議参加者にも適宜質問を振り、意見を求める
 - ④議論のまとめ(5分)
 - ・ コーディネーターが議論の総括、会議参加者は意見提出シートを記入(5分)





第4回なめがた市民100人委員会の開催

- 日 時:令和3年6月27日(日)
 - 13:30~17:00
- 場 所:麻生公民館
- 内 容:
 - ①第3回の100人委員会の振り返り
 - ・各担当課(室)は、第3回の議論を受けて基本目標実現シートをブラッシュアップ
 - ②基本目標の実現に向けて「行政・市民(民間)等のできること」を協議
 - ・委員は改善提案シートを作成し、市民の取組みを第5回で議論する。





総合戦略書(改訂版)イメージ

総合戦略書イメージ(冒頭～第1章)

- プロローグ ※5年間の世の中の出来事、行方市の出来事を掲載
- 目次
- 市長のことは

第1章 将来像と3つの基本理念について

1. 総合戦略について
 - (1)総合戦略の役割と計画期間
 - (2)総合戦略の基本的な考え方
2. 行方ならではの価値の共有を目指して
3. SDGsの概要
4. 人口ビジョン
5. 基本理念
6. 地区別の将来像



総合戦略書(改訂版)イメージ

総合戦略書イメージ(第2章) 【100人委員会で議論を行っているところ】

第2章 5つの重点プロジェクト

- プロジェクト1 : ○○○○
 - 基本目標01 : ○○○○
 - 成果指標1 : ○○
 - 成果指標2 : ○○

基本目法を実現するための市民の取組み

1. : ○○○○
2. : ○○○○

- 施策1 : ○○
 - 行政の取組み1 : ○○
 - 行政の取組み2 : ○○
- 施策2 : ○○
 - 行政の取組み1 : ○○
 - 行政の取組み2 : ○○
- 施策3 : ○○
 - 行政の取組み1 : ○○
 - 行政の取組み2 : ○○



総合戦略書(改訂版)イメージ

総合戦略書イメージ(第3章～末尾)

第3章 成果に磨きをかけるために ～計画の実行と評価、管理と改善～

1. PDCAサイクル
2. 分野別計画一覧
3. 人口データ集
4. 策定体制
5. 策定の経過
6. SDGs対応一覧

〈エピローグ〉

※総合戦略(改訂版)に対するなめがた市民100人委員会の意見を掲載



更新スケジュール

	全 体	なめがた市民 100人委員会	市議会全員協 議会	なめがた未来 のまちづくり 協議会	まち・ひと・し ごと創生本部	パブリックコメ ント	関係課協議	市民説明
4月				第1回(4/26)				
5月	基本目標 主要施策	第3回 (5/30)			経過報告			
6月	骨子作成 主要施策	第4回 (6/27)					実施	
7月	素案作成	第5回(7/17)	骨子説明	第2回	骨子報告			
8月	案作成	第6回(8/21)			素案報告	実施	実施	
9月				第3回	案報告			
10月			全員協議会 総合戦略報告					10月以降